

| | | | | | | |
|-------|-------|------|-----------|------|---|------|
| 指定校番号 | 28102 | 学級活動 | 児童会・生徒会活動 | 学校行事 | ○ | 別紙様式 |
|-------|-------|------|-----------|------|---|------|

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

| | | | | | |
|-----|------------|----|------|--------|------|
| 学校名 | 廿日市市立野坂中学校 | 校長 | 植松寛雄 | 生徒指導主事 | 川本 宏 |
|-----|------------|----|------|--------|------|

取組事例名 『自己有用感を高める縦割り集団の取組』

取組のねらい『キーワード 自己有用感』

行事（体育大会、文化祭）において、縦割り組集団の取組を仕組むことで、3年生や各クラスのリーダーを中心に取組を進め、クラスや組集団の役に立った、クラスや組集団がまとめることができたなどの自己有用感を高める。

取組の具体的内容『キーワード リーダーの育成』

○体育大会では、縦割り種目を増やし、組集団で練習する機会をつくり、練習のときから3年生がリーダーになって1・2年生を引っ張っていった。応援合戦では各クラスの応援団長が組集団の団長に協力して、独自の応援を考え、大変盛り上がった応援合戦をした。また、服装や態度、入場行進に至るまで、随所に3年生がリーダーシップを発揮して1・2年生を指導していった。

○文化祭では、各学年の合唱コンクールだけでなく、組集団でも行い、練習のときから3年生のパートリーダーを中心とした練習をしていった。



取組の課題・創意工夫『キーワード 日常生活につなげる』

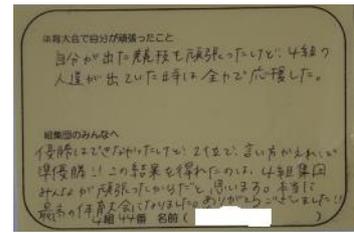
体育大会では、全体練習が始まる前に組集団の結団式を行った。応援団長が決意表明し、縦割り集団としての団結力を高める最初の取組である。体育大会終了後には解団式を行い、組集団の振り返りや応援団長のコメントなど、生徒それぞれの集団としての意識や、リーダーの自己有用感が高まる取組である。また、縦割りの取組を入れた行事ごとに、応援に来ていただいた方が誰でも書ける応援メッセージボードを設置したり、3年生やリーダーに対して全生徒がメッセージカードにコメントを書き、教室や掲示板に掲示したりしている。



課題としては、行事の時には生徒も大変盛り上がって取組むことができたが、これを日常生活にもつなげていく必要がある。日常生活の中でもリーダーが育ち、リーダーを中心としての集団づくりをしこんでいけば、行事で高まってきた自己有用感が日常生活でもリンクしていくことにつながる。

取組の成果（効果）『キーワード 見える化』

行事だけでなく、生活のあらゆる場面のことを校内のあちこちに掲示している。生徒や保護者も立ち止まってみている光景がよく見られる。掲示されているものは生徒のものが多く、感謝の気持ちや、ほめることなどの内容がほとんどで、このような掲示物を通じて生徒の自己有用感が高まっている。



今後の展開『キーワード 新たな取組へ』

今後は日常生活の中に縦割りの取組を仕組んでいこうと考えている。縦割りそうじや縦割り挨拶運動など、できそうなところから少しずつ膨らましていきたい。生徒会活動の中にも縦割りの取組を随所に盛り込み、生徒自ら自治的活動を日常的にできるようにしていきたい。

他校へのアドバイス『キーワード 掲示物の効果』

校内のあちこちに自分たちが認められている、役に立っている、ほめられているなどの掲示物が掲示されていると、生徒同士・生徒と教師の関係が良くなり、生徒の自己有用感も高まってくる。掲示する場所を工夫し、掲示物を工夫して、生徒の自己有用感を高めるひとつの取組として活用されたいかがだろうか。

